

2. 職場で陽性者等が発生した場合の対応ルール(例)

① 労働者が陽性者や濃厚接触者（以下「陽性者等」という。）であると判明した場合の事業者（社内担当者）への報告に関すること

- (1) PCR検査等を実施することが決定した段階で、速やかに所属長に報告する。また、検査の結果が判明した際には、その結果を速やかに所属長に報告する（結果が陰性であった場合も含む）。
- (2) 報告を受けた所属長は、事業場の人事担当部門（新型コロナウイルス対策本部や対応窓口が設置されている場合には当該部門）に報告する。
- (3) 健康情報の取扱いは、必要最小限の関係者に限るものとする。

※健康情報取扱規程を定めている場合には、その取扱に準じて健康情報の取扱を行う関係者を定めることとする。

② 労働者が陽性者等であると判明した場合の保健所との連携に関すること

労働者が陽性者等であると判明した場合には、濃厚接触者の自宅待機など、保健所の指示に従うとともに、保健所による積極的疫学調査が実施される場合に備え、事業場ごとに保健所との窓口となる担当者を決めておく。また、陽性者等の勤務状況や在籍する部署の座席表、フロアの見取り図を準備しておく。

③ 職場の消毒等が必要になった場合の対応に関すること

職場の消毒等については、保健所等から指示がある場合にはその指示に従い、特段の指示が無い場合には、以下の方法によって実施する。

- (1) 消毒を行う箇所
 - ・陽性者等の執務室、食堂、ロッカールーム、トイレなどの共有スペース
- (2) 使用する消毒液及び使用方法等
 - ・消毒用アルコール又は0.05%の次亜塩素酸ナトリウム等による清拭で、高頻度接触面や物品等の消毒を実施。
 - ・消毒等を行う際は、手袋、マスク、ゴーグル等の眼を防護するものなどの保護具を着用。
 - ・消毒実施後は、手袋を外した後に流水・石鹸による手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の衛生を必ず実施。

参考：厚生労働省「新型コロナウイルスの陽性者等が発生した場合における衛生上の職場の対応ルール(例)」



労働者が新型コロナウイルス感染症と診断されたら、まず何をすればいいですか？

次の3つをすぐに行ってください。

□感染者に以下のことを確認する。

- ✓ 発症日（症状が出現した日） ✓ 検査日 ✓ 診断日
- ✓ 診断を受けた医療機関 ✓ 発症2日前からの行動歴と接触者
- ✓ 思い当たる感染源（発症14日前まで）

□感染の可能性のある労働者等を確認し、一定期間（目安として7日間）体調に留意し、感染リスクの高い行動を控える。

□感染者の机などの身の回りや、多くの人に触れる場所（ドアノブ等）、共有部分を消毒する

参考：厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html



3. 労働者が「コロナ陽性」になったら、まずやること

感染者の最終出勤日を確認



感染可能期間^(※)に出勤している



はい

右記のような接触は感染する可能性があります。



上記のような接触をした方は一定期間（目安として7日間）、体調管理をし、感染リスクの高い行動を控えてください。
※一律に外出制限を求めるものではありません。状況に応じて自主的な感染拡大防止対策をお願いします。



感染者となった労働者はいつから出勤や外出が可能になりますか？

原則は以下のとおりです。保健所から個別に指示された場合は、そちらに従ってください。

□感染者となった場合

- ✓ 発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過してから
なお、入院している者や高齢者施設に入所している者は、発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過してから
 - ✓ 無症状の場合は陽性となった検体の採取日（検査を受けた日）から7日間経過してから
もしくは、5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過してから
- ※有症状の場合は10日間、無症状の場合は7日間経過するまでは、感染リスクが残存することから、健康状態の確認やリスクの高い行動は避けるなどの対策が必要

参考：名古屋市『事業所内で新型コロナウイルス感染症患者が発生したら』
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000141409.html>



(※)感染可能期間

感染者が有症状の場合：症状が出現した日の2日前以降

感染者が無症状の場合：検査を受けた日の2日前以降

感染拡大する可能性は低いです

いいえ

●感染する可能性が特に高い接触

- ・屋内外を問わず一緒に食事・喫煙をした
- ・マスクをしていない状態で、近距離（1～2m以内）で会話をした
- ・マスクをしていても車に長時間同乗した（目安として1時間以上）
- ・マスクをしていても換気の乏しい空間に長時間（目安として1時間以上）一緒にいた
- ・感染者と席が近かった

●具体的な対応

- ・1日2回体温を測り、健康状態を確認する
 - ・感染リスクの高い行動を控える（ハイリスク者^(※1)との接触や、ハイリスク施設^(※2)への訪問、大規模イベントへの参加など）
 - ・症状がある場合は、すぐに医療機関（かかりつけ医等）で受診する
- (※1)高齢者や基礎疾患を有する者等、感染した場合に重症化するリスクの高い方
(※2)ハイリスク者が多く入所・入院する高齢者・障害児者施設や医療機関